



# CentreCOM® CP100TX リリースノート

この度は、CentreCOM CP100TX をお買いあげいただき誠にありがとうございました。本リリースノートは、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。最初によくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

## 1 ファームウェアバージョン V.0.02 B02

## 2 本バージョンで修正された項目

### 2.1 電話操作

- 不在着信履歴の確認ができるよう修正しました。
- 通話中に第三者からの着信を受けたとき、現在通話中の相手が先に電話を切っても、第三者からの着信を取ることができるよう修正しました。
- 保留中に受話器を電話機に戻しても（On-Hook しても）、通話が切れないよう修正しました。

### 2.2 Web 設定画面

- Web 設定画面の「SIP サーバーアドレス」欄に 34 文字以上のホスト名を設定し、液晶ディスプレイで確認すると、フリーズまたはリポートを起こしていましたが、これを修正しました。Web 設定画面の「SIP サーバーアドレス」欄には、40 文字までのホスト名を入力できます。また、液晶ディスプレイの設定メニュー「11.SIP プロキシ」は、表示のみに変更され、ホスト名が入力されている場合、液晶ディスプレイの「11.SIP プロキシ」にはホスト名の先頭 15 文字が表示されます。
- Web 設定画面の「電話番号」欄に 15 桁を越える電話番号が入力できないよう修正しました。

### 2.3 ネットワーク機能

- 本製品の IP アドレスを固定設定から、DHCP に変更した後、再び固定設定にする際に、固定設定への変更を保存せずに取り消すと、DHCP で IP アドレスを取得しているにもかかわらず、最初に固定設定されていた IP アドレスが表示されていましたが、これを修正しました。
- 17 文字以上の Display Info（発着信番号）を持つ SIP パケットを受け取った場合、先頭の 16 文字を表示し、それ以降は無視するよう修正しました。これにより、17 文字以上の Display Info を持つ SIP パケットを受け取っても、通話に関する操作が不安定となることはなくなりました。

### 3 本バージョンでの制限事項・注意事項

---

ファームウェアバージョン V.0.02 B02 には、以下の制限事項や注意事項があります。

#### 3.1 電話操作

- VoIP FDB を使用している環境で、スピーカーフォンで通話しているとき、転送のキャンセルは、フッキングではなく必ず保留ボタンで行ってください。
- ワンタッチダイヤルに登録されている相手から着信したとき、登録されている名前で表示されません。
- 着信音 12、13 の音量が、着信音 1～11 と比較して大きくなっています。

#### 3.2 ネットワーク機能

- デフォルトゲートウェイとして存在しない機器の IP アドレスを設定すると、保留解除に時間がかかります。例えば、テスト環境などでゲートウェイが存在しないような場合でも、デフォルトゲートウェイの IP アドレスとして、SIP サーバーなどの通信可能な機器のアドレスを設定してください。
- 本製品の再起動時に送信される REGISTER (expire=0) のパケットに誤りがあるため、SIP サーバーでの BIND が自動的に無効となりません。これが無効となるのは、expire のタイムアウト後となります。
- 249 バイト以上の ICMP echo-request に対して、echo-reply を返しません。
- LAN または PC ポートの一方から受信した PAUSE パケットをもう一方のポートにフラディングします。

### 4 ユーザーマニュアルの補足

---

ユーザーマニュアル (J613-M0690-00 Rev.B) の補足事項です。

#### 4.1 PoE 機器接続時の注意



【ユーザーマニュアル】19 ページ



**注意** 給電中のポートからケーブルを抜いた直後は電圧がかかっているため、ケーブルを抜き差しするなどして機器を接続しなおす場合は、2、3 秒間をあげてください。再接続の間隔が極端に短いと本製品または接続機器の故障の原因となる恐れがあります。